

化学療法部

2026年5月12日改定版

消化管神経内分泌腫瘍 オクトレオチド療法

	投与 方法	薬剤	投与 時間	Day 1
①	IM	サンドスタチンLAR 30mg /body	－	↓

- *必要に応じてペンレステープを貼付し、30分後に臀部筋肉内に注射
(注射部位は指定の位置に部位をかえて順に行う)
- *投与直前までシリンジを攪拌しておき、針を取り換えて注射する

文献: 添付文書通り

Rinke A. J Clin Oncol 2009; 27: 4656-4663(PROMID 試験)

インターバル日数 28日

多発性骨髄腫による骨病変 及び固形癌骨転移による骨病変 ゾレドロン酸療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 100 ml ゾレドロン酸点滴静注 4mg	15分 400 ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 50ml (削除可)	6分 500 ml/時	↓

*腎機能の低下に応じて投与量を調節すること

	クレアチニンクリアランス (ml/分)			
	>60	50 – 60	40 – 49	30 – 39
推奨用量	4mg	3.5mg	3.3mg	3.0mg

褐色細胞腫
CVD療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 2
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 9.9mg アプレピタント125mg内服	15分 200 ml/時	↓	
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6mg	15分 200 ml/時		↓
③	DIV	生理食塩液注 250 ml ダカルバジン注 600 mg/m ²	60分 250 ml/時 遮光	↓	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml オンコビン注 1.4 mg/m ² (最大2mg)	15分 200 ml/時	↓	
⑤	DIV	生理食塩液注 500 ml エンドキサン注 750 mg/m ²	120分 250 ml/時	↓	
⑥	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	↓

アプレピタントカプセル80mgをday2,3に処方すること。

文献: Averbuch SD. Ann Intern Med. 1988; 109: 267-273
添付文書

インターバル日数 21日

消化管ホルモン産生腫瘍 オクトレオチド療法 20mg

	投与 方法	薬剤	投与 時間	Day 1
①	IM	サンドスタチンLAR 20mg /body	－	↓

通常、20mgを4週毎に3ヵ月間、その後は症状により10mg、20mg又は30mgを4週毎に投与する。

- *必要に応じて**エムラクリーム**を塗布し、30分後に臀部筋肉内に注射（注射部位は指定の位置に部位をかえて順に行う）
- *投与直前までシリンジを撹拌しておき、**20G針**に取り換えて注射する

文献：添付文書通り

Kvols LK et al. N Engl J Med. 1986; 315(11):663-666.

インターバル日数 28日

消化管ホルモン産生腫瘍 オクトレオチド療法 30mg

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	IM	サンドスタチンLAR 30mg /body	－	↓

通常、20mgを4週毎に3ヵ月間、その後は症状により10mg、20mg又は30mgを4週毎に投与する。

- *必要に応じてエムラクリームを塗布し、30分後に臀部筋肉内に注射（注射部位は指定の位置に部位をかえて順に行う）
- *投与直前までシリンジを撹拌しておき、20G針に取り換えて注射する

文献：添付文書通り

Kvols LK et al. N Engl J Med. 1986; 315(11):663-666.

インターバル日数 28日

消化管ホルモン産生腫瘍 オクトレオチド療法 10mg

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	IM	サンドスタチンLAR 10mg /body	－	↓

通常、20mgを4週毎に3ヵ月間、その後は症状により10mg、20mg又は30mgを4週毎に投与する。

- *必要に応じて**エムラクリーム**を塗布し、30分後に臀部筋肉内に注射（注射部位は指定の位置に部位をかえて順に行う）
- *投与直前までシリンジを撹拌しておき、**20G針**に取り換えて注射する

文献：添付文書通り

Kvols LK et al. N Engl J Med. 1986; 315(11):663-666.

インターバル日数 28日

多発血管炎性肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎、ループス腎炎
リツキシマブ療法（初回）

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	PO	アセトアミノフェン錠 400 mg レスタミンコーワ錠 30 mg	リツキシマブBS開始30分前	↓
②	DIV	ソル・メドロール注 80mg※ 生理食塩水注 100ml	200ml/時 30分	↓
③	DIV	リツキシマブBS注 375 mg/m ² 生理食塩液注で1 mg/mlに希釈	開始 - 30分 50 ml/時 31 - 60分 100 ml/時 61 - 90分 150 ml/時 91 - 120分 200 ml/時 121 - 150分 250 ml/時 151 - 180分 300 ml/時 181 - 210分 350 ml/時 211分 - 400 ml/時 ・重度のinfusion reaction出現時 中断時の半分以下の速度で再開する。 ・前回との投与間隔が6か月以上の場合は、 初回投与に準じて行う。	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓

※ ステロイドは患者により、減量、中止可。内服での投与も可とする。

文献：添付文書、Stone J. et al.: N. Engl. J. Med. 363:221 (2010)、
ループス腎炎に対するリツキシマブ（遺伝子組換え）使用に関するステートメント2022.2.18
Rovin, et al. Arthritis Rheum 2012; 64(4): 1215-1226.

インターバル日数 7日

多発血管炎性肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎、ループス腎炎
リツキシマブ療法（2回目以降）

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	PO	アセトアミノフェン錠 400 mg レスタミンコーワ錠 30 mg	リツキシマブBS開始30分前	↓
②	DIV	ソル・メドロール注 80mg※ 生理食塩水注 100ml	200ml/時 30分	↓
③	DIV	リツキシマブBS注 375 mg/m ² 生理食塩液注で1 mg/mlに希釈	開始 - 30分 100ml/時 31 - 60分 200 ml/時 61 - 90分 300 ml/時 91分 - 400ml/時 ・重度のinfusion reaction出現時 中断時の半分以上の速度で再開する。 ・前回との投与間隔が6か月以上の場合は、 初回投与に準じて行う。	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓

※ ステロイドは患者により、減量、中止可。内服での投与も可とする。

文献：添付文書、Stone J. et al.: N. Engl. J. Med. 363:221 (2010)、
ループス腎炎に対するリツキシマブ（遺伝子組換え）使用に関するステートメント2022.2.18
Rovin, et al. Arthritis Rheum 2012; 64(4): 1215-1226.

インターバル日数 7日

膵・消化管神経内分泌腫瘍
ストレプトゾシン療法（毎週投与：1000mg/m²）

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 1000 ml	120分 500ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 9.9mg(減量可)	15分 200ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 100 ml ザノサー点滴静注 1000 mg/m ²	30分 200 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 250 ml	30分 500 ml/時	↓

膵・消化管神経内分泌腫瘍

ストレプトゾシン療法（毎週投与：1250mg / m²）

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 1000 ml	120分 500ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 9.9mg（減量可）	15分 200ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 100 ml ザノサー点滴静注 1250 mg/m ²	30分 200 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 250 ml	30分 500 ml/時	↓

* 第13週以降 1250mg/m²に増量可
増量基準は適正使用ガイド参照

膵・消化管神経内分泌腫瘍

ストレプトゾシン療法（毎週投与：1500mg / m²）

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 1000 ml	120分 500ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 9.9mg(減量可)	15分 200ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 100 ml ザノサー点滴静注 1500 mg/m ²	30分 200 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 250 ml	30分 500 ml/時	↓

* 第19週以降 1500mg/m²に増量可
増量基準は適正使用ガイド参照

膵・消化管神経内分泌腫瘍 ランレオチド療法

	投与 方法	薬剤	投与 時間	Day 1
①	皮下注	ソマチュリン皮下注120mg	—	↓

＊ 必要に応じてペンレステープを貼付し、30分後に臀部へ皮下注射する

文献：添付文書

Caplin ME et al N Engl J Med. 2014 371:224-33

インターバル日数 28日

難治性ネフローゼ症候群
リツキシマブ療法（初回）

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	PO	アセトアミノフェン錠 400 mg レスタミンコーワ錠 30 mg	リツキサン開始30分前	↓
②	DIV	ソル・メドロール注 80mg※ 生理食塩水注 100ml	200ml/時 30分	↓
③	DIV	リツキサン注 375 mg/m ² 生理食塩液注で1 mg/mlに希釈	開始 - 30分 50 ml/時 31 - 60分 100 ml/時 61 - 90分 150 ml/時 91 - 120分 200 ml/時 121 - 150分 250 ml/時 151 - 180分 300 ml/時 181 - 210分 350 ml/時 211分 - 400 ml/時 ・重度のinfusion reaction出現時 中断時の半分以下の速度で再開する。 ・前回との投与間隔が6か月以上の場合は、 初回投与に準じて行う。	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓

※ ステロイドは患者により、減量、中止可。内服での投与も可とする。

難治性ネフローゼ症候群
リツキシマブ療法（2回目以降）

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	PO	アセトアミノフェン錠 400 mg レスタミンコーワ錠 30 mg	リツキサン開始30分前	↓
②	DIV	ソル・メドロール注 80mg※ 生理食塩水注 100ml	200ml/時 30分	↓
③	DIV	リツキサン注 375 mg/m ² 生理食塩液注で1 mg/mlに希釈	開始 - 30分 100ml/時 31 - 60分 200 ml/時 61 - 90分 300 ml/時 91分 - 400ml/時 ・重度のinfusion reaction出現時 中断時の半分以下の速度で再開する。 ・前回との投与間隔が6か月以上の場合は、 初回投与に準じて行う。	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓

※ ステロイドは患者により、減量、中止可。内服での投与も可とする。

がん化学療法後に増悪した進行・再発の
MSI-High または TMB-High を有する進行・再発の固形癌
ペムブロリズマブ療法

	投与 方法	薬剤	投与 時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml	ルート確保用	↓
②	DIV	キイトルーダ点滴静注 200mg/body 生理食塩液注 50 ml	30分 100 ml/h	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	500ml/h	↓

標準的な治療が困難な場合に限る。
インラインフィルター(0.2-5μm)を使用すること。

文献: 添付文書

がん化学療法後に増悪した進行・再発の
MSI-High または TMB-Highを有する固形癌
ペムブロリズマブ療法(6週毎)

	投与 方法	薬剤	投与 時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml	ルート確保用	↓
②	DIV	キイトルーダ点滴静注 400mg/body 生理食塩液注 50 ml	30分 132 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	500 ml/時	↓

※標準的な治療が困難な場合に限る。
※インラインフィルター(0.2-5μm)を使用すること。
※ペムブロリズマブを6週毎投与で導入する際は、少なくとも最初の3コースまでは
3週毎に診察し、バイタルサイン、採血をチェックすること。

文献: 添付文書

	投与 方法	薬剤	投与 時間	Day 1	Day 2	Day 3	Day 8	Day 15
①	DIV	ソルデム3A 2000ml (側管投与中はメイン止める)	24時間 83ml/時間 残破棄可	→	→	→		
②	DIV (側管)	ソルラクト輸液 1000 ml	2時間 500 ml/時間	↓				
③	DIV (側管)	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg	15分 200 ml/時間	↓				
④	DIV (側管)	生理食塩液注 50 ml オンコビン注 1.5 mg/m ² (max 2.0mg)	15分 200 ml/時間	↓				
⑤	DIV (側管)	生理食塩液注 50 ml コスメゲン注 0.045mg/kg(最大用量 2.3mg)	15分 200 ml/時間	↓				
⑥	DIV (側管)	生理食塩液注 500 ml エンドキサン注 2200mg/m ²	2時間 250 ml/時間	↓				
⑦	DIV(側管) ⑥開始と同時 ⑥開始4時間後 ⑥開始8時間後	生理食塩液注 100 ml ウロミテキサン注 880mg/m ² (増量可)	30分 200 ml/時間	↓				
⑧	DIV (側管)	ソルラクト輸液 1000 ml	2時間 500 ml/時間	↓				
⑨	DIV (側管)	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg	15分 200 ml/時間		↓	↓		
⑩	DIV (側管)	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg(削除可)	15分 200 ml/時間				↓	↓
⑪	DIV (側管)	生理食塩液注 50 ml オンコビン注 1.5 mg/m ² (max 2.0mg)	15分 200 ml/時間				↓	↓
⑫	DIV (側管)	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時間				↓	↓

原発不明癌 ニボルマブ療法

	投与 方法	薬 剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml	ルート確保用	↓
②	DIV	オプジーボ点滴静注240mg/body 生理食塩液注 50 ml	30分 148ml/h	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	500ml/h	↓

※オプジーボはインラインフィルター(0.2又は0.22μm)を用いて投与する。

「原発不明がん診療ガイドライン」(日本臨床腫瘍学会)等の最新の情報を参考に、適切な全身検索及び病理学的検査を実施した上で、原発臓器が不明な上皮性悪性腫瘍と診断され、かつ、腫瘍の局在・組織型等に基づいて推奨される治療法のない患者であることを確認すること。

原発不明癌 ニボルマブ療法(4週間間隔)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml	ルート確保用	↓
②	DIV	オプジーボ点滴静注 480mg/body 生理食塩液注 100ml	30分 300 ml/h	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	500ml/h	↓

※インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を用いて投与する。
※ニボルマブを4週毎投与で導入する際は、少なくとも最初の3コースまでは2週毎に診察し、バイタルサイン、採血をチェックすること。

「原発不明がん診療ガイドライン」(日本臨床腫瘍学会)等の最新の情報を参考に、適切な全身検索及び病理学的検査を実施した上で、原発臓器が不明な上皮性悪性腫瘍と診断され、かつ、腫瘍の局在・組織型等に基づいて推奨される治療法のない患者であることを確認すること。

参考文献: 添付文書

Tanizaki J et al. Ann Oncol. 2021 PMID: 34843940

インターバル日数 28日

再発・難治性ユーイング肉腫
テモゾロミド内服＋イリノテカン療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 2	Day 3	Day 4	Day 5	Day 6	Day 7	Day 8	Day 9	Day 10	Day 11	Day 12
1	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 3.3mg (Day1-5はテモゾロミド投与前)	15分 200 ml/時	↓	↓	↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓
2	PO	テモゾロミド錠 100mg/m ²	空腹時	↓	↓	↓	↓	↓							
3	DIV	生理食塩液注 50ml	1時間 50 ml/時	↓	↓	↓	↓	↓							
4	DIV	イリノテカン点滴静注液 20mg/m ² 生理食塩液注 100ml	1時間 100 ml/時	↓	↓	↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓
5	DIV	生理食塩液注 50ml	6分 500 ml/時	↓	↓	↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓

テモゾロミド錠は空腹時(食後4時間以上)に服用し、服用後2時間は食事を控える
テモゾロミド錠内服1時間後にイリノテカンを開始する

文献： 添付文書
Wagner LM et al. Pediatr Blood Cancer. 2007 Feb;48(2):132-9.
Casey DA et al. Pediatr Blood Cancer 2009;53:1029-1034

インターバル 21日

悪性中皮腫（悪性胸膜中皮腫を除く） ニボルマブ療法(2週間間隔)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml	ルート確保用	↓
②	DIV	オプジーボ点滴静注 240 mg/body 生理食塩液注 50 ml	30分 148 ml/h	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	500 ml/h	↓

※オプジーボは、インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を用いて投与する。

悪性中皮腫（悪性胸膜中皮腫を除く） ニボルマブ療法(4週間間隔)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml	ルート確保用	↓
②	DIV	オプジーボ点滴静注 480 mg/body 生理食塩液注 100ml	30分 300 ml/h	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	500 ml/h	↓

※オプジーボは、インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を用いて投与する。
※ニボルマブを4週毎投与で導入する際は、少なくとも最初の3コースまでは2週毎に診察し、バイタルサイン、採血をチェックすること。

膵・消化管神経内分泌腫瘍 エベロリムス＋ランレオチド併用療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 1-28
①	皮下注	ソマチュリン皮下注120mg	—	↓	
②	PO	アフィニトール10mg/day			→

* 必要に応じてエムラクリームを塗布し、45分後に臀部へ皮下注射する

文献：添付文書

Shimoyama R, et al. Pancreatology. 2020;20(6):1183-1188.

Hijioka S, et al. JCO 2025 43:4_suppl, 652-652.

インターバル日数 28日

HER2陽性進行・再発固形癌 トラスツズマブ デルクステカン療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート6.6mg(減量可)	15分 200 ml/時	↓
②	DIV	5%ブドウ糖液注 100ml (ルート内をフラッシュするために20ml以上を投与)	500 ml/時 ルートフラッシュできたら終了可	↓
③	DIV	5%ブドウ糖液注 100ml エンハーツ 点滴静注用 5.4mg/kg	初回:67 ml/時 ; 90分 2回目以降:200 ml/時 ; 30分 (遮光)	↓
④	DIV	5%ブドウ糖液注 100ml (ルート内をフラッシュするために20ml以上を投与)	500 ml/時 ルートフラッシュできたら終了可	↓

※CGP検査でのHER2増幅のみが対象、標準的な治療が困難な場合に限る
※0.2 μ m のインラインフィルター(ポリエーテルスルホン製又はポリスルホン製)を使用し投与する。
※エンハーツは注射用水5ml/Vで溶解し、20mg/mlとした後、必要量を抜き取る。
※乳癌は共-乳-B-2-30、胃癌は共-胃-83、肺癌は共-肺-90を使用すること